

# 千坂地区地域福祉活動計画

計画期間 平成27年度～平成31年度

千坂地区社会福祉協議会

# 千坂地区地域福祉活動計画

## 1. 千坂地区の特性・近年の地区の動向

私たちの住む千坂地区は金沢市の北部に位置し、昭和28年千木小学校と百坂小学校が合併し「千坂小学校」となり、千坂校下が誕生、昭和31年頃の千坂校下の人口は2,049人、世帯数は399でしたが、その後工業団地や住宅団地が造成され人口も急激に増加し始めた。地区内には国道8号線や359号線その他、北陸新幹線、IRいしかわ鉄道線、北陸自動車道が通り、海側環状道路の用地買収も終わり、後は開通を待つばかりである。地区内には大型商業施設をはじめ、病院、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、グループホーム、ケアセンター、デイサービスセンター等の地域住民との交流機能を持った福祉施設が充実している所である。しかし、地区の直近には森本富樫断層があり未曾有の大災害が発生することも懸念される所でもある。新旧住民との連帯意識も強く住民同士の交流は活発であるが、少子化と世代交代の時期を迎え、高齢者世帯、一人暮らし世帯が増加傾向にあるのが現状である。

区分	区分	世帯数	65歳以上	一人暮らし	高齢化率
平成21年4月	11,312人	4,355世帯	2,144人	498人	18,68%
平成27年1月	11,581人	4,768世帯	2,576人	706人	22,24%

上記の通り、地区全体の高齢化率も増加傾向にあり、この傾向は今後とも続く見通しである。

## 2. 現行計画の評価

(評価できる点)

- ・現行計画で予定していた事業は概ね実行できた
- ・地域サロンの増設ができた
- ・町会別の地域住民支えあいマップを作成できた
- ・子育てサロンの参加者も増加傾向にある

(評価できない点)

- ・地域住民への社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会の活動と役割の理解と周知が不足に思われる

## 3. 地区における課題

- ・次の世代のボランティアの発掘が急務である
- ・ボランティア組織の確立
- ・善隣思想の啓蒙
- ・災害に備える準備が必要である
- ・集合住宅(特にワンルームマンション)等の情報収集が困難である

#### 4. 計画の基本的な考え方

金沢市の地域福祉計画では「新たな共助の構築」を最も重点目標としているところから千坂地区では「支えあう町づくり」を基本とし、地域住民の見守り活動を通して人と人とのつながりを深め地域で支えあう関係を構築して行くことを基本とする

(重点取り組み)

- ・小地域ごとに交流拠点を整備する (サロンの開設)
- ・見守り活動の強化 (支えあいマップの活用)
- ・災害に備えた準備 (防災マップの活用)

#### 5. 事業計画

##### ① 地域福祉への関心を高める広報・啓発

		H27	H28	H29	H30	H31
広報誌の発行	年2回各町会班回覧する	継続	継続	継続	継続	継続
ホームページの開設	最新の事業報告を周知する	継続	継続	継続	継続	継続

##### ② 地域住民との交流促進

小地域交流	より身近で参加しやすいよう町会毎にサロンを開設する	実施	継続	継続	継続	継続
地域交流(公民館)	社会体育大会、盆踊り、文化祭等を通して町会や住民と交流	継続	継続	継続	継続	継続
福祉施設との交流	近隣住民と施設入所者を交えてのサロンを開催(月2回)	継続	継続	継続	継続	継続
福祉奉仕者との交流	福祉推進員、民生委員、ボランティアグループ合同の研修会の開催	継続	継続	継続	継続	継続

② 地域住民との交流促進

		H27	H28	H29	H30	H31
世代間交流 (健全育成協議会)	三世代交流グラウンドゴルフ大会の開催	継続	継続	継続	継続	継続
戦没者慰霊祭	千坂、小坂、夕日寺、三地区合同で毎年開催	継続	継続	継続	継続	継続
敬老の集い	75歳以上の方を対象に、交流と親睦を深めることを目的に毎年開催	継続	継続	継続	継続	継続
子ども竹の子掘り 体験学習 (健全育成協議会)	竹の子掘り体験と、竹の子料理で食事会をする	継続	継続	継続	継続	継続
防災訓練 (自主防災会)	小学校と一般住民合同で年一回防災訓練をする	継続	継続	継続	継続	継続
国道の歩道清掃 (老人会連合会)	359号線の歩道清掃をする	継続	継続	継続	継続	継続

③ 福祉教育の推進

健全育成標語の募集 (健全育成協議会)	小、中、高、一般から広く募集、優秀作を文化祭で表彰する。	継続	継続	継続	継続	継続
高齢者を敬う	一人暮らし世帯配食の時、児童館の子ども達の愛のメッセージと手作りの品を贈る	継続	継続	継続	継続	継続

④ 人権教育・人権啓発

研修会の開催	行政又は一般より専門職を招き人権講座を開催する	実施	継続	継続	継続	継続
--------	-------------------------	----	----	----	----	----

⑤ 社会福祉協議会の活性化

		H27	H28	H29	H30	H31
社協理事会の開催	拡大役員会、常任理事会を、年2～3回開催する	継続	継続	継続	継続	継続
民生委員との連携	情報を共有して地域福祉の増進に努める	継続	継続	継続	継続	継続

⑥ 民生委員等の活動環境の整備

民生委員活動の紹介	福祉だより等を通じて活動内容を紹介する	継続	継続	継続	継続	継続
地域包括支援センターとの連携	困難事案は包括支援センターと連携して行う	継続	継続	継続	継続	継続

⑦ 地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアの育成	担い手となる人材の発掘と後継者の育成に努める	新規	検討	実施	継続	継続
-----------	------------------------	----	----	----	----	----

⑧ 地域活動の自主財源

共同募金	町会単位の募金を募る	継続	継続	継続	継続	継続
法人募金	地区内の法人、商店より募金を募る	継続	継続	継続	継続	継続
歳末助け合い募金	各町会長にお願いし住民より封筒募金を募る	継続	継続	継続	継続	継続
社協会費	地区届け出世帯より社協会員としての会費を募る	継続	継続	継続	継続	継続

⑨ 地域支えあい見守りネットワークの構築

		H27	H28	H29	H30	H31
住民支えあいマップの作成	住民主体の見守り体制を構築	実施	継続	継続	継続	継続
防災マップの作成 (自主防災会)	要援護者支援、避難場所、避難経路危険個所を表示、全戸に配布	実施	継続	継続	継続	継続
学童の見守りと防犯活動 (育友会) (安全パトロール隊)	登下校時の見守りと巡回車によるパトロール	継続	継続	継続	継続	継続
地域サロンの増設	サロンでの交流を機に高齢者同志見守りあう体制が出来ればよい	実施	継続	継続	継続	継続
まごころ弁当の配食 (婦人会)	婦人会ボランティアによる手作り弁当を一人暮らし高齢者に配り安否確認をする	継続	継続	継続	継続	継続
おはぎの配布 (婦人会)	婦人会ボランティアによる手作りおはぎを一人暮らし高齢者に配り安否確認をする	継続	継続	継続	継続	継続
福梅の配布	70歳以上の一人暮らしの方にお正月の福梅を届ける	実施	継続	継続	継続	継続
一人暮らし高齢者親睦旅行	年一回日帰り旅行を実施	継続	継続	継続	継続	継続
歳末見舞金の贈呈	要援護者に歳末見舞金を贈呈する	継続	継続	継続	継続	継続
卒寿祝い品の贈呈	90歳になった方に記念品を贈呈する	継続	継続	継続	継続	継続
子育て支援	子育て中の親子を支援するため子育てサロン「たんちくらぶ」を運営する	継続	継続	継続	継続	継続
ひとり親家庭支援	ひとり親家庭の子どもに入学進学の祝い金を贈る	継続	継続	継続	継続	継続
こんにちは赤ちゃん事業	地区内で生まれた赤ちゃんに誕生祝い金を贈る	継続	継続	継続	継続	継続

⑩ 切れ目のない相談・支援体制の確立

		H27	H28	H29	H30	H31
学習会の開催	認知症・虐待・成年後見制度等の学習会の開催	継続	継続	継続	継続	継続
専門機関との連携	包括支援センター等との連携を密にし困難事案に対処	継続	継続	継続	継続	継続

⑪ 地域主体の生活サポート体制の構築

生活支援サポーターの養成	小地域ごとに生活支援サポーターとしての人材を募る	新規	検討	実施	継続	継続
--------------	--------------------------	----	----	----	----	----

6. 事業の進捗状況の確認等

毎年度末の社協常任理事会に於いて、計画に盛り込まれた事業の進捗状況を確認するとともに、次の年度に予定されている事業について意見交換する。

7. 計画期間

平成27年度(2015)～平成31年度(2019)

8. 策定参画団体

千坂地区社会福祉協議会  
 千坂地区民生委員・児童委員協議会  
 千坂校下町会連合会  
 千坂公民館  
 千坂児童館  
 千坂校下青少年健全育成協議会  
 千坂校下婦人会  
 千坂校下自主防災会  
 千坂校下防犯委員会  
 千坂小学校  
 千坂小学校育友会  
 千坂校下老人クラブ連合会  
 消防千坂分団  
 ちさか地域安全パトロール隊  
 千坂地区まちぐるみ福祉活動推進員会  
 千坂ボランティアグループ  
 地域包括支援センターふくひさ